

国産 SAF 製造に向け 廃食用油の供給に協力する基本合意書を締結**～食品工場初、全国規模で廃食用油を SAF 向けに提供開始～**

株式会社武蔵野ホールディングス(以下「当社」)は、日揮ホールディングス株式会社(以下「日揮HD」)、株式会社レボインターナショナル(以下「レボインターナショナル」)、並びに合同会社SAFFAIRE SKY ENERGY(以下「SAFFAIRE SKY ENERGY」)と、2025年6月18日付で廃食用油の供給に協力する基本合意書を締結いたしました。

基本合意書に基づき、当社グループが運営する工場およびホテル等で使用後に回収された食用油(以下「廃食用油」)を、年間約46万リットル提供する予定です。提供された廃食用油からは、年間約36.8万リットルの航空燃料を生産することが可能であり、これは羽田ー伊丹間の片道約200便に相当する量となります。

また、当社は「Fry to Fly Project」に参画し、全国規模で食品工場を展開する企業としては初めて、廃食用油をSAF製造の原料として提供いたします。武蔵野グループは今後も資源の有効活用による気候変動対策の推進、および循環型社会の実現に向けた取り組みをしてまいります。

【Fry to Fly Projectについて】

「Fry to Fly Project」は、家庭や店舗などで発生する使用済み食用油を原料とするSAFを用いて、航空機が飛ぶ世界を実現するプロジェクトです。プロジェクトは日揮HDが発起人となって設立し、設立主旨に賛同する企業・自治体・団体が、家庭や飲食店など身近なところで発生する廃食用油の提供を通じて、日本国内における資源循環の促進に直接参加しています。

特設ホームページ：

<https://www.jgc.com/jp/esg-hsse/initiative/fry-to-fly/>



※SAF(Sustainable aviation fuel)とは、廃食用油やバイオマスなどを原料として製造される持続可能な航空燃料を指します。

以上